



夏の花といえば、「ひまわり」。その名のとおり、太陽の動きを追うように花の向きを変える姿から、「日回り（ひまわり）」と名付けられたといわれています。英語では「sunflower（太陽の花）」と呼ばれ、明るさや元気の象徴として世界中で親しまれています。

実はこの「ひまわり」、ギリシャ神話にも登場します。水の精クリュティエは、太陽神アポロンに恋をします。しかしアポロンは別の女神を愛しており、彼女の想いは届きません。失恋したクリュティエは悲しみに暮れ、地上からアポロンが太陽の馬車で空を駆けていく姿を毎日見つめ続けました。やがて彼女の足は地面に根を張り、太陽を見つめる花、「ひまわり」へと姿を変えたと伝えられています。

まっすぐに太陽を見上げて育つ「ひまわり」。その姿は、お口の健康にも通じるものがあります。正しいセルフケアと、歯科医院での定期的なチェックを積み重ねることで、未来の笑顔を守ります。ひまわりのように、お口も健康な方向へまっすぐ育てていきましょう！



すやま歯科

電話 095-843-7234

診療科目 一般歯科/小児歯科/審美歯科/訪問歯科
インプラント/予防歯
科/口腔外科

交通手段 路面電車「千歳町電停」下車徒歩 3 分
長崎バス「住吉バス停」下車徒歩 2 分



診察時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00 ~12:00	9:00 ~12:00	9:00 ~12:00	9:00 ~12:00	9:00 ~12:00	9:00 ~12:30
午後	13:30 ~18:00	13:30 ~18:00	13:30 ~18:00	13:30 ~18:00	13:30 ~18:00	

セラミックは歯科の花形素材

「セラミック」とは、陶器のように高温で焼き固めた人工素材です。天然の歯に近い色合いや透明感を再現できるのが最大の特徴で、また、表面がなめらかで汚れが付きにくいいため、虫歯や歯周病のリスクも抑えられるという利点もあります。見た目の美しさ、身体へのやさしさ、そして高い耐久性。そのすべてを兼ね備えた「セラミック」は、今や歯科治療の中心的な素材として世界中で注目されています。

★歴史とともに進化してきた「白い歯」

歯科におけるセラミックの歴史は古く、1838 年にはすでに人工歯として使用が始まりました。しかし当時は硬くて脆く、実用化は限定的でした。その後 1950 年代、金属フレームにセラミックを焼きつけた「メタルボンド冠」が登場。強度と見た目を両立させた画期的な治療法として、現在でも多くの治療で使われています。しかし、金属が光を遮るため、自然な透明感には限界があるという課題も残っていました。1990 年代以降、技術の進化により、セラミックをコンピュータで精密に削り出すことが可能に。これにより、金属を使わず高い強度と美しさを両立した「オールセラミック冠」が実用的となりました。素材も進化し、ジルコニア・e-max など様々な種類が登場しています。

★セラミックのメリット・デメリット

メリット	デメリット
• 自然な白さと透明感で美しい見た目に • 汚れが付きにくく清潔、虫歯・歯周病予防にも • 金属アレルギーの心配がない（オールセラミックの場合） • 高精度な技工仕上げでぴったりフィットする • 適切に使えば長期間使える高い耐久性	• 保険適用外のため費用が高め（素材・部位による） • 強い衝撃が加わると、まれに欠けることがある • 精密な技術が必要なため、歯科医院選びも重要

★歯は何度も治療できません。あなたはどの治療を選びますか？

虫歯や銀歯の下に虫歯ができてしまったとき、治療には「保険治療」と「自費治療」の選択肢があります。「とりあえず保険で治して、また悪くなったら治療すればいい」と思われるかもしれませんが、歯は削るたびに弱っていきます。同じ歯を 3 回も治療すれば、神経を取らざるを得なくなることが多く、その結果、歯を失ってしまうことも。



最近では、保険でも「白い歯」が選べるようになりました（プラスチック＋セラミックの混合素材）。しかしやわらかいために健康な歯を大きく削る必要があり、強い力がかかると外れたり、割れたりすることがあります。

当院では、こうしたリスクを減らし、見た目も美しく長持ちする「セラミック治療」をおすすめしています。初期費用はかかりますが、再治療が少なく済むため、長い目で見れば治療費を抑えられることもあります。銀歯を 1 本ずつセラミックに替えることも可能です。ぜひお気軽にご相談ください。



すやま歯科

